

3月20日（祝）～26日（火）

春季火災予防運動

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」



地震火災対策について

自然災害である地震は、どんなに注意していてもその発生を防ぐことはできませんが、

皆さんの備えによりその被害を軽減することができます！

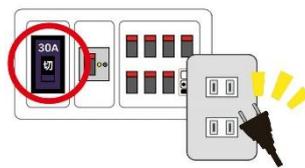
【事前の対策】

1. 家具等の転倒防止対策(固定)を行う。
2. 感震ブレーカーを設置する。
3. ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない。



【地震直後の行動】

1. 停電中は電化製品のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く。
2. 石油ストーブやファンヒーターからの燃料漏れの有無を確認する。
3. 避難するときは、ブレーカーを落とす。



【電気やガスが復旧後の対応】

1. ガス機器、電化製品及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認する。
2. 再通电後は、しばらく電化製品に煙やにおいなどの異常がないか注意を払う。

モバイルバッテリーなどの充電式電池による火災が増えています!!

火災予防の心得

- ・PSEマーク等が付された製品を購入し、取扱説明書に従い使用しましょう。
- ・電池の膨張など異常が生じた場合は使用を中止しましょう。
- ・廃棄する際は、各自治体のルールに従うとともに、以下の点に注意しましょう。



特定電気用品



特定電気用品以外の電気用品



無理に外さない



他の廃棄物と
混ぜない



めらさない



電池の端子部分を
露出させない



リチウムイオン電池は、強い衝撃が加わると発煙・発火の恐れがあります。粉碎・選別などの処理工程に混入すると発火することがあり、大変危険です。

野焼きによる火災に注意！！

屋外でのごみ等の焼却行為は禁止されています。

剪定木や雑草、家庭ごみ等は焼却せず、指定のゴミステーションに出すなど、適正に処理してください。なお、どんど焼き等の地域の行事や害虫駆除のための畦畔焼きなどは、例外規定に該当した場合でも、むやみに行うのではなく、近隣の迷惑にならないように配慮を行うとともに、次のことを厳守してください。

その場を離れない

焼却行為をする場合には、必ず監視を継続し、やむを得ずその場を離れる場合は、一旦消火する。

消火用の水バケツを用意する

燃え広がってしまったとき、または緊急で消火する必要がある場合に備えて、水バケツ等を用意して消火ができる準備をする。



天候により中止する

強風、乾燥注意報や警報が発令されているときは、中止する。火の粉や灰は、風速2m程度の風でも遠くに飛ぶことがあり、風のない日でも天候が急変する場合がありますので、注意が必要です。



設置していますか！！

住宅用火災警報器が命を守っています。

全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されてから10年以上が経過しています。すべての寝室と階段【寝室が2階以上にある場合】に必ず設置してください。

電池切れで**いざ！**という時に**鳴らない**ことがないように…

定期的な作動確認を実施し、古くなったら交換しましょう！

Point!



住宅用火災警報器の設置による**驚くべき効果**がコレだ！！

住宅火災100件あたりの死者数

12.1人

DOWN

6.1人



約半分に！！

住宅火災1件あたりの被害額は…

329万8千円

DOWN

175万5千円



差額は154万3千円で

約半分に！！

《参考：総務省消防庁》令和元年～令和3年の統計調査より

※お問合せは、
嶺北あわら消防署まで Tel:73-0119

嶺北消防組合のHPでは、youtube
などのコンテンツを活用し、防火・防災
に関する情報を発信しています！！

